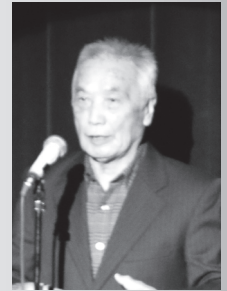


第53回 積丹町文化祭

— 4年ぶりの芸能発表会も盛況に！ —

芸能発表の部 (11月11日)



第53回積丹町文化祭（主催・文化祭実行委員会・河岸悟郎委員長）が、総合文化センターを会場に開催されました。

展示の部は、11月1日から3日まで行われ、保育園児や小学生、町内文化団体、一般町民の方々から出品された書道や絵

展示の部 (11月1日～3日)



画、生け花、陶芸など計322点の力作が展示され、期間中に延べ274名の方々が来場しました。

また、IP電話の使用方法やスマホアプリについての相談コーナーのほか、1日は北海道電力㈱の「ほくでんエネルギーキャラバン」、3日は美国婦人会のバザーと町社会福祉協議会による赤い羽根共同募金活動も行われ、多くの人でにぎわいま



した。

11日には芸能発表の部が4年ぶりに行われ、町民による歌や舞踊、町内小学校児童によるダンスや器楽演奏、リズム縄とびなど日頃の練習の成果が披露されました。演目が終わるたびに、約110名の参観者から大きな拍手が送られました。

地崎道路株式会社へ社会貢献感謝状

神岬会館前の舗装補修

10月20日、神岬会館前広場 前駐車場く積丹トンネルの補修工事の社会貢献を行った地崎道路株式会社北海道支店（札幌市）を訪れた松井町長から同社高橋取締役支店長へ感謝状を贈りました。



▶高橋取締役支店長（写真・左）と松井町長

同社は、町内神岬町の沼間国道229号舗装補修工事の施工をご縁に、「しゃこバス発着地（神岬会館前広場）」の傷みが激しかった舗装の補修工事を工事現場の町への地域貢献活動として実施しました。

広場は、アスファルト補修工事により、安全で快適になり、バス利用者の皆さんから同社の地域貢献に感謝されています。

北海道原子力防災総合訓練

泊発電所の冷却ポンプ等の故障を想定

10月25日の北海道原子力防災総合訓練は、泊発電所の炉心冷却等の装置が全て故障し、冷却不能になったことを想定した防災訓練でした。

当日は、町内の連絡方法として、IP告知端末・屋外拡声器・携帯電話のエリアメールの



▲防災備蓄品の確認

送受信を確認する「通信訓練」。町内の土や水の採取、可搬型モニタリングポストで町の汚染状態を計測する「モニタリング訓練」、共和町の北海道原子力防災センターに管内町村職員が参集し、道との連絡をサポートする「オフサイトセンター参集訓練」などが行われました。

また、町が原子力災害に見舞われた際の避難先として美国小学校に令和元年に整備されている「放射線防護対策施設」機能の稼働訓練も行いました。

同施設には、停電等により電源が喪失しても稼働できるよう



▲美国小玄関出入口の汚染防止対策訓練

に非常用電源設備や外気の流入を抑える外調機設備が整備されており、これらの稼働手順の確認と、出入口での汚染を防ぐための養生方法と手順を町職員が実践しました。